

事務事業名: 小学校英語教育推進事業
所属部: 教育委員会
所属課: 学校教育課
政策名: (IV)ふるさとを学び育つまち<<教育・文化>>
施策名: (27)学校教育の充実
基本事業名: (081)すべての子どもにわかりやすい授業づくりの推進

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
② 事業内容
小学校卒業時には簡単な英会話ができる能力の素地を養うため、小学校3年生から英語活動を実施する。

(2) 事務事業の手段・指標

① 主な活動
30年度実績(30年度に行った主な活動)
①契約
②評価委員会開催
③英語指導助手の配置
② 活動指標
英語指導助手派遣学校数
英語指導助手の人数

(3) 事務事業の目的・指標

① 対象(誰、何を対象にしているのか)
② 意図(対象がどのような状態になるのか)
③ 対象指標
④ 成果指標

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)
委託料 14,094千円
② コストの推移
国庫支出金
県支出金
地方債
その他

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況)
② 改革改善の経緯
③ 関係者からの意見・要望

事務事業名	小学校英語教育推進事業	所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合	
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合		
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	児童英検の受験校数を増やし、児童の英語力の向上を進めるうえで比較となる対象を多くすることが必要。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			
<input type="checkbox"/> 影響無	理由	小学校においてネイティブの英語指導助手による指導が困難になる。		
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有				
C 効率性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合	(具体的な手段や類似事業名)	外国青年(外国語指導助手)招致事業
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる			
<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由	現在任用しているJETプログラムの外国語指導助手は4名しかおらず、全小中学校に配置することは不可能である。		
<input type="checkbox"/> 他に手段がない				
D 公平性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	AETの配置基準を変更し、担任主体の授業展開を検討する。	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	すでに委託業務により事業を実施しているなど、最低限の事務である。また、移行期間でもあり学校の授業を円滑に行う必要がる。		
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない				
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	今年度より英語指導助手を3名配置にした結果、1名につき4~7校を受け持つが、一部の学校で配置日が固定化され公平に配置を行うための見直しが必要。	
<input type="checkbox"/> 公平・公正である				
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	令和2年度の教科化本格実施に向け、担任が主となった授業を行っている。	
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり			

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
英語の教科化に向け、引き続き、担任を中心とした授業を展開していく。 契約方法の見直しを検討する。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		